



## 学塾通信 6月号 学塾通信(第162回)

6月30日(火)は授業調整日です。自習開校も行いません

公立中学生には定期テスト2週間前から学校のワークに取り組み始め、1週間前には終わらせるようなスケジュールで勉強をするように伝えています。

4月11日(土)に1年生に定期テスト説明会を実施しました。強調して伝えたことは「学校のワークを終わらせることに追われてテスト勉強ができていない」などということが無いようにという話でした。私たちの思いとは裏腹に、小学生意識が抜けてない中学1年生が多く、個々にテスト前の勉強について指導をする必要性を強く感じています。そして、意識や取り組みを変えていく必要があります。中学1年生の1学期中間テストから2学期末テストにかけて、問題の難易度もあがるため、同じような取り組みをしていると点数はどんどん下がります。今がどちらに転ぶかの分かれ目です。テスト前は勉強をして当たり前を意識をもつこと。

今年の1年生には、そこから伝えていく必要があります。テスト間近に公園で遊んでいるようでは困ります。最初が肝心ですので、それができていない生徒については厳しく指導します。

中学3年生には4月18日(土)に高校受験生向けの第2回塾長講座を実施しました。嬉しいことに少しずつ14期生に変化の兆しが見えてきました。4月4日(土)の模擬テストの結果も動き出すきっかけになったようです。厳しい判定を突きつけられた人もいました。

思ったような結果でなかった人は「だからどうするのか?」を考えることが大切です。今回の模試は今の自分の立ち位置を知るためのもので、ここからどうやって必要なレベルまで伸ばしていくのかを考えましょう。

14期生のみんなが13期生の入試直前特訓を見学し、私から高校入試制度の説明をしたのが1月24日(土)でした。あれから3ヶ月が経っています。この変化を生むまでに3ヶ月かかりました。

読売新聞に、大リーグの大谷翔平選手の出身校(花巻東高校野球部)の佐々木監督のインタビューが掲載されていました。受験勉強に役立つような内容でしたので一部紹介します。

花巻東の野球部部員は今、全員が分厚い手帳を持っています。

この手帳の冒頭には「未来は明日つくるものではない。今日つくるものである」と記されています。

この言葉の意味を考えることが受験勉強のヒントになると思います。

**“地道にコツコツ”取り組むことが目標達成への唯一の道です。**

コツコツと取り組むことができれば、今は手の届かない学校であっても、半年後には合格圏になります。

受験は自分の気持ちとの戦いです。どこまで成長できるか思い切ってチャレンジしてみましょう。



## ○保護者面談について

5月25日(月)～6月5日(金)を面談週間とします。

5月12日(火)にアプリからアンケートを配信しました。面談を希望される方には日時調整の案内を送っています。確認をお願い致します。

## ○モニター募集

昨年度一年間を準備期間とし今年度から連絡アプリを導入しました。

次の変更は、現在紙で配布をしている請求書をアプリ上で送付できるようにしたいと考えています。

つきましては数ヶ月試運用の期間を設ける予定です。

ご協力いただける方はその旨ご連絡いただくと幸いです。

(「請求書配布についての試験運用モニター希望」というタイトルで内容にはお名前を記載してください。)

## ○入試情報等について

各学校から届いた案内や入試に関する情報は、学塾のX(Twitter)にて配信しています。

## ○教室への連絡について

遅刻・欠席に関する連絡はアプリから「塾長送信可」宛に送ってください。

「送信不可宛」に送信すると確認が遅くなります。

## ☆小学生☆

先月は活字に触れる機会が少ないことについてお伝えしました。その後、スマホやタブレットを使用しない時間を作り「読書のタイム」を始めたという声もお聞きしました。

子どもたちの数字の感覚についても最近気になっていることがあります。今月はそのことについてお伝えします。

例として、ある商品を購入したという算数の文章題において、おつりが最初の所持金より多くなっていましたが、この答えに違和感がなかったようです。「最初に持っていたお金より、物を買った後の金額が多くなっているのはおかしいよね?」といってもピンときていません。おそらくキャッシュレス決済が多くなり、現金を扱う機会が減ったことで数字に慣れていないのだと思います。時計の問題でもデジタルで慣れているため、長針短針が動く概念がわからないようです。4時の時点の長針と短針がつくる角度が $120^\circ$  というのもわかりにくいようです。算数は数学に比べて実生活に直結することがたくさんあります。車に乗る機会は速さを実感する機会になります。車のメーターに表示されている時速60kmは、1時間に60km進むという意味であること。

そうであれば2時間であれば120km進むということ。逆に180km進むには何時間必要なんだろう。

また、牛乳パックに入っている量から実際のL(リットル)とm l(ミリリットル)の概念を実感することができます。

このように身近なものから結び付けて考えることで、算数を身近に感じてもらうことができます。

日常会話のなかで、数字に触れる機会を作っただけであればと思います。

## ☆中学受験生☆

小学5年生については、もう少し受験勉強の時間を取っていきたいです。授業と塾の宿題だけでは十分とはいえません。学んだことが一回で定着する人はいません。何度も繰り返し練習をすることでできることがどんどん増えてきます。塾の宿題を終えることに加えて、これまでに学んできたことを振り返る時間も作っていきましょう。土曜日の自習教室にもどんどん来てください。

○模試について（小学6年生・5年生）

### 第3回 五ツ木模試 7月5日（日）

中学受験の五ツ木・駿々堂模試は保護者様にお申し込みをしていただく形になります。その際に塾名を「学塾」で登録していただきますようお願いいたします。

## ☆中学生☆

○ミニテストについて（中2・中3）

ミニテストについて「プリントを無くしました」「提出したが名前を書いていませんでした」ということが多々あるため、運用方法を変更します。

テスト前学習会で購入いただいている教材

**iワークに別冊としてついている「iワークテスト」をミニテストとして実施します。**

そのため、これまでは毎週 英語・数学のプリントを準備していましたが、隔週で教科を変えることにします。英語→数学→英語 の繰り返しです。

私からは保護者アプリにて、今週のミニテストの範囲を送ります。（毎週月曜日）

**テキストに直接書き込みをしていただいて構いませんので、テキストごと提出ボックスに入れてください。**

○中学1年生

正確に計算ができない、スピードが遅いなど算数や数学の計算問題が苦手という人もいますが、受験においては確実にここで点数を取っていく必要があります。今からしっかりできるようになるために、確認しておきたいことを二つあげます。

1、途中式を書いていますか。答えだけを書いて、自分がどのような計算をしたのかがわからない。そのようなことはないでしょうか。途中式は間違い直しをする際に重要な情報になります。どこで間違えたのかを確認できるように必ず途中式を書くようにしましょう。途中式を見直しても、なぜ間違えたのかがわからない。そんな問題こそ講師に質問するべきです。

2、“ケアレスミス”という言葉を使っていませんか。「ただの符号間違いでした。」と中学1年生がよく口にしますが、実はその多くはケアレスミスなどではなく、わかっていないので不正解といえます。ケアレスミスという

言葉で済ませずに、わかっていないから間違えるのだと思って、丁寧に途中式を確認し直しましょう。

初めての定期テストが終わった後に言うのも酷ですが、事実だけを伝えます。

1学期の定期テストの点数より2学期の定期テストの点数は5教科合計20点ほど下がると考えておいてください。

毎年2学期になって成績が振るわなくなったりと感じる人がいますが、マイナス20点以内であれば実力相応だと考えてよいでしょう。ですから、1学期に取れていた点数を維持しようと思えば1学期の定期テスト以上にしっかり準備をすることが必要です。

## ○中学2年生

中間テストに向けての取り組みを見ていると、2年生になり高い目標を目指して頑張っている人と半ば諦めている人に分かれているようでした。

これまでは勉強が苦手だったとしても頑張ろうという姿勢は見られたのですが、できていないことを笑いでごまかしたり、家でやっています（実際はやっていない）という逃げの姿勢に入っているように見えます。

このような姿勢は改め、ひとつでもできるようになろう。という姿勢を持ち続けて欲しいと思います。

もう社会人になる卒業生ですが5教科100点台で中学2年生の頃に入塾をしてきて、3年生では400点を越えるようになった先輩もいます。諦めずに頑張りましょう。

高い目標を持って頑張っている人は、これまで以上に目標達成のために頑張ろうとしていることがわかります。ただ、その人たちの課題をひとつ挙げるとすれば「詰めの甘さ」と「徹底力の不足」です。具体的に説明します。一つ目は「間違えた問題のやり直し」です学校のワークや塾の問題集の間違った問題をもう一度解き直しをする時間を取ってください。二つ目は「テスト範囲表にある課題を完璧にできるまでやり切ること」です。例えば国語は知識問題の出題がおおくありますが、国語便覧や漢字プリントの内容を確認していても全部きちんとできるまで取り組んでいる人は少ないように見えます。(1学期の中間テストも30点分ほど出題されていました)100点を目指して内容を説明できるレベルまで仕上げることが、高得点を取るためには必要です。

## ☆中学3年生☆ (14期生)

### ○模試について

模擬試験を受験する機会が増えていきますので、模試についての考え方をお伝えします。模試に向けて勉強し、当日がんばることももちろん大切ですが、受験後の復習はもっと重要です。模試を終えたあと、解説を読み復習をすることで幅広い知識を得ることができます。例えば、英語で“ I enjoy ( ) tennis.”の空白に playing または to play のどちらが正しいかを問う問題が出題されたとします。ただ正解不正解をみるのではなく、解説を読み復習をすることで、動名詞をとる動詞は他にも finish や give up 、avoid があることを知ることができます。ひとつの動名詞の知識を問う問題から、より幅広く知識を増やすことができるのです。ですから、この時期は模試の結果に一喜一憂せず、「模試を使って知識を整理し、実力を強化する！」という姿勢で試験に臨んで下さい。今、復習をしっかりしておくことで秋冬の直前期にグンと力がつきます。

## 【模擬試験を受験する目的（9月末までの考え方）】

### ① 現時点での学力を測る。

これまで学習してきたことが定着しているかを確認します。間違いの分析をすることで理解度の把握ができます。

### ② 解いた問題を使って学力をつける。

模試の問題は良問が多いです。この良問を使って復習をすることで、各教科の知識を増やすことができます。

### ③ 広い地域での学力レベルを把握する。

それぞれの学校でテストはありますが、学校外での学力を知る機会はありません。模試を受けることで、広い地域の中で自分はどのあたりの学力層に位置しているのかを知る機会が得られます。模試では合格判定が出ますが9月までの合格判定はあまり気にしないでください。入試当日に得点を取ることができるよう、ひとつひとつを積み上げることを考えていきましょう。

## 第2回 五ツ木模試 6月14日（日） 希望者のみ受験

### ○中3 第3回 塾長講座について

第4回 2026年 7月4日（土） 13時30分～19時00分です。

### ○堀江中 修学旅行の振替授業について

6月16日(火)～18日(木)で修学旅行が予定されています。

驚いたことに、この翌週が期末テストです。つまり水曜日・木曜日に授業に来ている人は6月10日(水)・11日(木)の授業がテスト前最終の授業になります。

中間テストが終わり、期末テストまで3回の授業しかありません。

そのため、修学旅行期間に欠席する分の授業は前倒しで行います。

5月30日（土）・6月6日（土）を使い、振替授業を行います。

部活動や課外活動、個々の学習状況など、それぞれの事情を考えて日時の提案をさせていただきます。

例年、修学旅行から帰ってくる日に授業がある生徒でも欠席せずに塾で授業を受けるという人が9割ほどいます。今年度も最終日に授業がある人には通塾の可否をお聞きした上で対応をさせていただければと存じます。

## ☆高校生☆

### ○高校1年生

高校1年生の塾生から「(進学した先の高校の) クラスのみんながよくできる。ついていくことができるだろうか。」という相談を受けます。私は「そのレベルが高いメンバーの一員であることを誇りましょう。」と伝えています。全員が自分より良くできるというわけではありません。もしも自分の学力を不安に思ったら、周囲を客観的に見て、少しずつテスト結果などの順位を上げていけば良いのです。

受験期に伝えた「地道にコツコツ」を継続することです。

## ○高校3年生へ

塾生のみなさんが自分なりに頑張っている様子は伝わります。しかし大学受験に求められているレベルに達しておらず苦しんでいる様子もみられます。さらなるレベルアップが求められますが、これに関しては気持ちを切らさずに粘り強く取り組むしかありません。受験勉強に対する優先順位を上げ、日々取り組むべきことを確実にやっていきましょう。

大学受験生が合格を勝ち取るために何が大切かを考えると、最終的には「心の成長度合い」です。言い換えると自己管理能力・自分との付き合い方・モチベーションの保ち方・将来に対するビジョンなど、目標に向かって自分自身を上手にコントロールする力がどれだけあるかということです。心が成長していれば学習定着も比例してよくなり、精神的に幼ければ受験勉強も途中で失速していきます。

試験に直結するのは授業での教科学習ですが、心の成長につながるのは毎週提出してもらっている手帳の記入と振り返りの習慣です。

さらに心の成長を進めるために、第一線で活躍している経営者やスポーツ選手の自伝などを読むことをお勧めします。そこから目標に向かう「在り方」を学んでください。

目指す学校のレベルが高いほど受験勉強は大変ですが、その分得るものもたくさんあります。

今月も頑張りましょう。

### 2026年度 新年度 塾生募集について

【高校生】募集終了

【高校受験 中3】募集終了

【高校受験 中2】募集終了（キャンセル待ち2名）

【高校受験 中1】若干名

【中学受験 小6】募集終了

【中学受験 小5】募集終了

【非受験 小学生】募集停止中（キャンセル待ち1名）

\* 高校生、高校受験 中3・中2、中学受験 小6・小5はキャンセル待ちの受付も実施しません。

非受験の小学生はキャンセル待ちの方に案内ができれば、募集を再開します。

学塾【URL】 <https://gakujyuku.com>

【FACEBOOK】 <https://www.facebook.com/gakujyuku>

【X】 <https://x.com/gakujyukuhorie>

【Instagram】 <https://www.instagram.com/gakujyuku/>